

【クイックメモリー機能の操作について】

ノイズや放送などVFOスキャン中に止まってほしくない信号や、受信中に見つけたメモリーしたいチャンネルを、簡単に各200chまで専用のクイック・メモリーバンクに登録できます。VFOスキャン中でも登録できます。

※ VFOスキャンから外したい信号を手軽にメモリーする（クイックサーチパス）

VFOモードで受信します。VFOスキャン中に止めたくないノイズや放送のような信号を見つけたら、画面に「P2-数字」（例：P2-01）のような表示が出るまでダイヤルを長く押しします。ビープ音が鳴り、登録が終わります。

※ 見つけたチャンネルを手軽にメモリーする（クイックメモリー）

VFOモードで受信します。受信中にクイックメモリーしたい信号を見つけたら、FUNCキーを1度押してすぐ指を放し、画面左上隅に[F]アイコンが点灯している間に、「AT-数字」（例：AT-01）のような表示が出るまでダイヤルを長く押しします。ビープ音が鳴り、登録が終わります。FUNCキーを長く押しすぎると鍵のマークが出てキーロックが掛かりますのでご注意ください。ロックがかかった時は、もう一度FUNCキーを長押しすると戻ります。

【共通の仕様】

- ・メモリーチャンネル番号（例：P2-01, AT-01）は、自動的に連番で書き込まれます。
- ・クイックメモリーしたチャンネルは、メモリーモードのP2（クイックサーチパス）とAT（クイックメモリー）の各バンクに収納されます。通常メモリーチャンネルと同じように、トーンや受信モードも記憶しますし、ATバンクはメモリースキャンもできます。また、通常メモリーチャンネル登録と同様の操作でATやP2バンクに周波数を登録することもできます。
- ・クイックサーチパスでは、同じチャンネルを登録しようとするとDUPERRと表示され、登録できません。クイックメモリーは同じチャンネルでも登録できます。
- ・いずれも200chを越えるとそれ以上のチャンネルは登録できなくなるので、不要なチャンネルは適時、削除してください。クイックメモリーチャンネルを消したい時は、取扱説明書P. 35の6-3-3「メモリーチャンネルとバンクの消去」をご参照ください。バンクの内容を一度にまとめて消したいときは[3]の項目でP2またはATバンクの任意のチャンネル1つを選んだあと、引き続き説明書通りに操作してください。ATとP2バンクは、セットモードのメモリー保護機能設定に関係なく消すことができますが、通常のリセットでメモリー内容が消えることはありません。
- ・書き込んだチャンネルを通常のサーチパスメモリーバンクやメモリーバンクに移動したいときは、説明書P. 37の6-3-5「メモリーチャンネルをVFOモードにコピーする」をご参照ください。